

## 『あたりまえの日常生活』

(50歳代 女性)

もともと子どもが好きで、児童養護施設で働いていた時から、施設の子ども達を温かい家庭で育てたいと思っていました。退職を機に里親に登録し、現在、小学校低学年の男の子を預かっています。

最初は、一緒に買い物に行ったり、畑で野菜をとって、料理して、みんなで食事をするのが珍しいようでした。そしていろんなものに興味関心を示し、いろいろ質問をするんです。

こちらも子どものペースでじっくり関わる事ができるし、子どもも自分一人を見てくれるのがとても嬉しいようでした。そういう姿を見ていると、私も愛しさを感じ、里親の役割は特別なことをするのではなく、日々あたりまえの日常生活を積み重ねることだと感じます。

家族とも打ち解けて楽しんでいる姿を見ると、本当によかったと思います。

